

# 専務室 室方針

専務室 室長 荒川 繁美

戦後最大の国難を乗り越える為に国民一人ひとりが日々歩みを進める中で、我々水戸JCは今まで以上に地域から頼られ、必要とされる団体であるよう組織進化をしていかなければなりません。メンバー同士が互いに研鑽し合い「彰往考来」の精神に立ち返りつつ、時代の変化やめまぐるしく変わるニーズを的確に捉えながら力強く運動を展開・発信し伝播していくことで、地域での存在価値の高い強い組織へと進化させることを目的とします。

まずは60年間、脈々と引き継がれてきた組織のあり方を充分理解した上で、公益社団法人格取得による新たな組織の構築に向け運営面での役割を担い適時適切に実施します。そして、本年は我々の運動を積極的に市民に伝える為に、広報物により効果的な発信をすると共に過去の運動の広報結果を検証し事業の外部担当窓口としての役割も担いマスメディアへの露出を増やします。地域での認知度・存在価値を高めることで人が自然と集まり会員の拡大と共に賛同して頂く企業の拡大にもなり、我々の事業の質が向上することで、地域に頼られ求められる団体へと昇華し良い連鎖が生まれ「正のスパイラル」を起こします。さらに、出向するメンバーの動向には常に注意を払い、開催される事業にしっかりとコミットメントし例年以上に積極的な連携をすると共に、出向者の成長をサポートしLOMの確かな礎を築きます。また、メンバーには諸大会等の情報や意義・目的を伝え積極的な動員を行い責任を果たすことを伝えると共に、それぞれの事業や運動を他人事とならないよう設え、率先して行動に移し組織のあり方を示すことにより強い組織へと進化します。

我々水戸JCが中心的存在となり様々な運動を伝播することにより、市民運動を喚起し自発的に行動できる環境が整備され、公の為に自らを最大限に活かすことのできる運動の輪が広がることで、ソーシャルキャピタルの醸成による市民主体の強い地域が創られます。